
第2章 都市構造の評価

生活サービス施設（都市機能）や公共交通について、利用圏（徒歩圏）のカバー率、人口密度を整理することで、本市の都市構造を分析・評価します。

本計画において立地誘導を図る生活サービス施設について、「春日井市都市計画マスタープラン」では、鉄道駅や地域の中心に行政・文化施設や商業施設、交流機能等の生活利便に資するサービス機能の集積を図ることとしています。また、都市計画運用指針においては、中心拠点や生活拠点に医療・福祉・子育て支援・商業等の都市機能を集約し、生活サービスが効率的に提供されるようにすることとしており、居住者の共同の福祉や利便性の向上を図る観点から、誘導施設として以下の施設が想定されています。

【都市計画運用指針における誘導施設の設定例】

- ◆病院・診療所等の医療施設、老人デイサービスセンター等の社会福祉施設、小規模多機能型居宅介護事業所、地域包括支援センターその他の高齢化の中で必要性の高まる施設
- ◆子育て世代にとって居住場所を決める際の重要な要素となる幼稚園や保育所等の子育て支援施設、小学校等の教育施設
- ◆集客力がありまちの賑わいを生み出す図書館、博物館等の文化施設や、スーパーマーケット等の商業施設
- ◆行政サービスの窓口機能を有する市役所支所等の行政施設

資料：都市計画運用指針

1 現況の都市構造の評価方法

(1) 評価項目

データの整備状況等を踏まえ、「①生活利便性」と「②健康・福祉」の評価のうち人口カバー率、人口密度に関連する指標については、本市が整理した施設分布や人口メッシュに基づき評価を行います。その他の指標については、国土交通省が公表しているデータ（都市モニタリングシート）（以下、国提供データとする）を利用します。

【表 評価を行う指標の一覧】

都市構造評価指標名		データ名	単位	利用データ	
				国公表データ	市算定データ
① 生活 利便性	◎居住機能の適切な誘導	日常生活サービスの徒歩圏充足率	日常生活サービス徒歩圏	%	●
		生活サービス施設の徒歩圏人口カバー率	医療施設徒歩圏(800m)	%	●
			福祉施設徒歩圏(800m)	%	●
			商業施設徒歩圏(800m)	%	●
	基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率	駅またはバス停留所徒歩圏(800m、300m)	%	●	
	◎都市機能の適正配置	生活サービス施設の利用圏平均人口密度	医療施設徒歩圏(800m)	人/ha	●
			福祉施設徒歩圏(800m)	人/ha	●
商業施設徒歩圏(800m)			人/ha	●	
◎公共交通の利用促進	公共交通沿線地域の人口密度	駅およびバス停徒歩圏(800m、300m)	人/ha	●	
② 健康・ 福祉	◎都市生活の利便性向上	高齢者徒歩圏に医療機関がある住宅の割合	医療施設から500m圏内の住宅の割合	%	●
		高齢者福祉施設の中学校圏域高齢人口カバー率	福祉施設(1km)※65歳以上	%	●
		保育所の徒歩圏0～4歳人口カバー率	保育所徒歩圏(800m)※0～4歳	%	●
	◎歩きやすい環境の形成	歩道整備率	歩道設置率	%	●
高齢者徒歩圏に公園がある住宅の割合		公園から500m圏内の住宅の割合	%	●	
③ 安全・安心	◎市街地の安全性の確保	市民一人あたりの交通事故死者数	交通事故死者数	人	●
		最寄り緊急避難場所までの平均距離	平均距離	m	●
	◎市街地荒廃化の抑制	空家率	空家率	%	●
④ 地域経済	◎サービス産業の活性化	従業者一人当たり第三次産業売上高	売上高/従業員数	百万円/人	●
	◎健全な不動産市場の形成	都市機能を誘導する区域における小売商業床効率	小売商業床効率(市街化区域)	万円/㎡	●
⑤ 行政運営	◎都市経営の効率化	市民一人当たりの歳出額	人口当たりの公共施設等の維持・管理・更新費	千円	●
	◎安定的な税収の確保	市民一人当たりの税収額	市民一人当たりの税収額	千円	●
⑥ エネルギー/ 低炭素	◎運輸部門の省エネ・低炭素化	市民一人当たりの自動車CO2排出量	市民一人当たりの自動車CO2排出量	t-CO2/年	●

(2) 比較対象都市について

都市構造の分析・評価に当たっては、『都市モニタリングシート/国土交通省都市局都市計画課』を参考として、愛知県の都市のうち、春日井市と類似した人口や都市構造となっていると考えられる都市を抽出し、都市構造の比較評価を実施することで、本市の都市構造の特性を整理します。

また、都市モニタリングシートでは生活サービス施設として以下の施設を設定しています。

【都市モニタリングシートにおける生活サービス施設の定義】

- ◆医療施設：病院・診療所で内科または外科を有する施設
- ◆福祉施設：高齢者福祉施設のうち、通所系・訪問系施設及び小規模多機能施設
- ◆商業施設：専門・総合スーパー、百貨店

資料：都市モニタリングシート収録データ定義書

【表 比較対象都市の一覧】

対象都市	2020年 (令和2年) 人口	2020年 (令和2年) D I D 人口密度	2020年(令和2年) 人口割合			市街化 区域 面積
			年少 人口	生産年齢 人口	老年 人口	
春日井市	308,681人	57.9 人/ha	13.5%	60.3%	26.2%	4,709ha
豊橋市	371,920人	58.9 人/ha	13.3%	60.5%	26.2%	6,189ha
岡崎市	384,654人	57.2 人/ha	14.3%	62.0%	23.7%	5,919ha
一宮市	380,073人	54.5 人/ha	13.1%	59.4%	27.5%	3,802ha
豊川市	184,661人	49.3 人/ha	13.8%	59.8%	26.4%	3,520ha
豊田市	422,330人	60.8 人/ha	13.6%	63.0%	23.4%	5,287ha
安城市	187,990人	70.6 人/ha	14.9%	63.9%	21.2%	2,158ha
小牧市	148,831人	48.1 人/ha	13.1%	61.8%	25.1%	2,849ha

資料：2020年(令和2年) 国勢調査、愛知統計年報(市街化区域面積)

(3) 評価方法について

生活利便性や健康・福祉、安全・安心、地域経済、行政運営、エネルギー/低炭素に関する指標別に、比較対象都市における春日井市の偏差値を算定することで都市構造の評価を行います。

(4) 施設の利用圏域（徒歩圏等）人口の算出方法

○利用圏域人口について

施設の利用圏域に重なるメッシュの人口の合計により、各施設のカバー人口を算定します。なお、実態に即した評価値を算定するため、メッシュの大きさは100m四方のメッシュを採用します。

○徒歩圏のカバー率について

市の人口に対する、利用圏域に含まれる人口の割合を算定します。

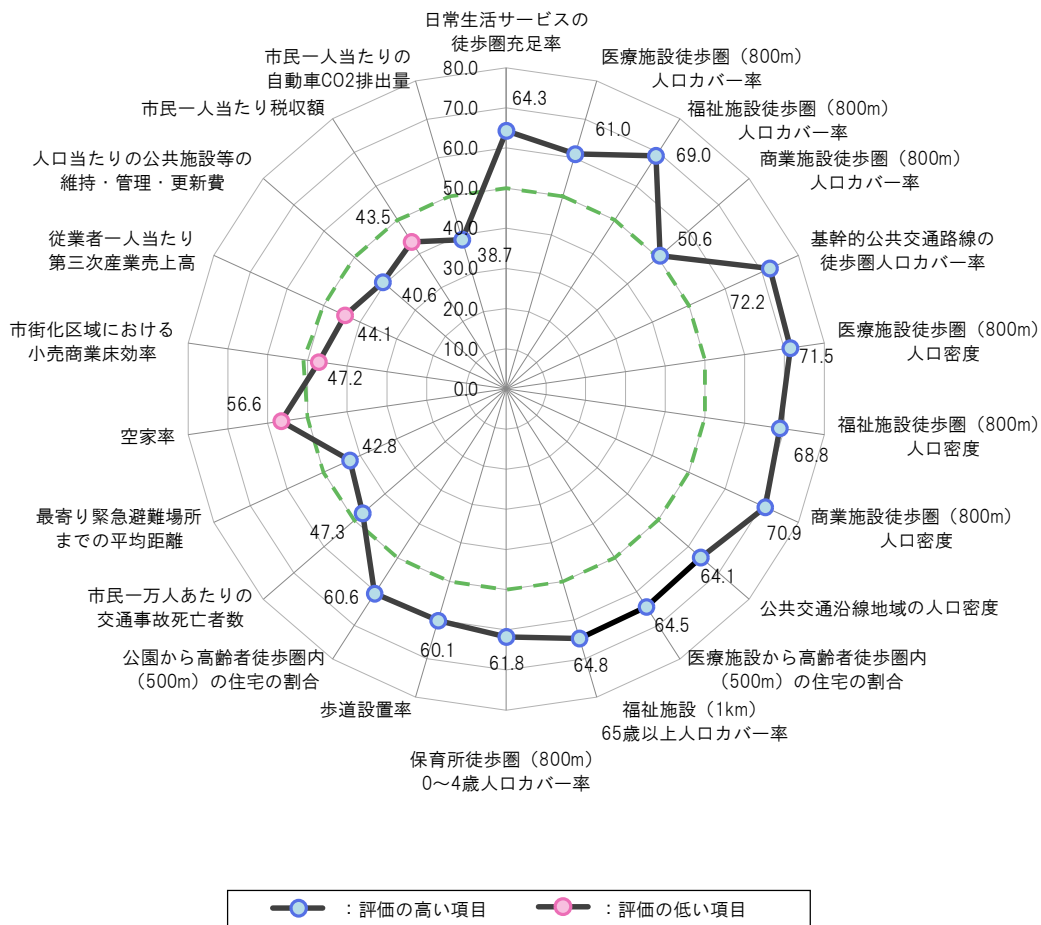
○平均人口密度について

施設の利用圏域に重なるすべてのメッシュ（人口がゼロのメッシュも含む）から面積を算定し、利用圏域を除いて算定します。

2 現況の都市構造の評価結果

類似都市と比較すると、日常生活サービスの徒歩圏充足率や医療施設徒歩圏人口密度など、生活利便性や健康・福祉の評価が高くなっています。一方で市街地荒廃化の抑制の指標である空家率や地域経済に関する従業者一人当たり第三次産業売上高、行政運営に関する都市経営の効率化等の指標である市民一人当たり税収額等において類似都市よりも評価が低くなっています。

【図3-1 春日井市の都市構造の評価結果（評価項目別の偏差値）】



【表 比較対象都市の項目別の評価値】

指標		単位	春日井市	豊橋市	岡崎市	一宮市	豊川市	豊田市	安城市	小牧市	
①生活利便性	◎居住機能の適切な誘導	日常生活サービス徒歩圏	%	49	45	40	37	36	26	40	45
		医療施設徒歩圏（800m）人口カバー率	%	94	85	90	95	86	80	84	93
		福祉施設徒歩圏（800m）人口カバー率	%	98	69	72	86	80	61	76	81
		商業施設徒歩圏（800m）人口カバー率	%	68	72	73	66	68	52	69	74
		基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率	%	73	58	57	53	51	47	55	60
	◎都市機能の適正配置	医療施設徒歩圏（800m）人口密度	人/ha	45.9	28.7	29.4	35.2	20.9	21.4	27.8	30.0
		福祉施設徒歩圏（800m）人口密度	人/ha	42.3	32.3	32.3	35.9	22.5	25.3	30.0	31.9
		商業施設徒歩圏（800m）人口密度	人/ha	55.4	38.0	43.8	43.3	28.9	32.5	34.8	37.8
	◎公共交通の利用促進	公共交通沿線地域の人口密度	人/ha	46.0	39.7	33.5	39.9	30.6	19.8	38.7	36.8
	②健康・福祉	◎都市生活の利便性向上	医療施設から高齢者徒歩圏内（500m）の住宅の割合	%	81	62	51	65	52	40	72
福祉施設（1km）65歳以上人口カバー率			%	99	78	77	94	87	69	85	92
保育所徒歩圏（800m）0～4歳人口カバー率			%	97	3	21	88	75	8	72	79
◎歩きやすい環境の形成		歩道設置率	%	80	64	51	71	52	57	74	89
		公園から高齢者徒歩圏内（500m）の住宅の割合	%	83	48	57	41	80	50	79	86
③安全・安心	◎市街地の安全性の確保	市民一人あたりの交通事故死亡者数	人	0.19	0.32	0.15	0.21	0.43	0.38	0.05	0.07
		最寄り緊急避難場所までの平均距離	m	359	757	740	449	331	840	279	345
	◎市街地荒廃化の抑制	空家率	%	4.7	4.7	3.6	4.7	5.7	2.7	2.2	3.1
④地域経済	◎サービス産業の活性化	従業者一人当たり第三次産業売上高	百万円/人	17	18	20	16	14	31	25	23
	◎健全な不動産市場の形成	市街化区域における小売商業床効率	万円/㎡	74	85	80	92	75	75	81	56
⑤行政運営	◎都市経営の効率化	人口当たりの公共施設等の維持・管理・更新費	千円	307	338	313	299	336	418	351	366
	◎安定的な税収の確保	市民一人当たり税収額	千円	140	147	153	113	136	239	191	195
⑥エネルギー／低炭素	◎運輸部門の省エネ・低炭素	市民一人当たりの自動車CO2排出量	t-co2/年	0.71	0.80	0.95	0.82	1.19	1.10	0.68	1.14

※表の着色は、指標別に評価値が最も大きい都市を緑色、最も小さい都市を白色とし、色の濃淡で数値の大小を示したものである。

3 都市機能

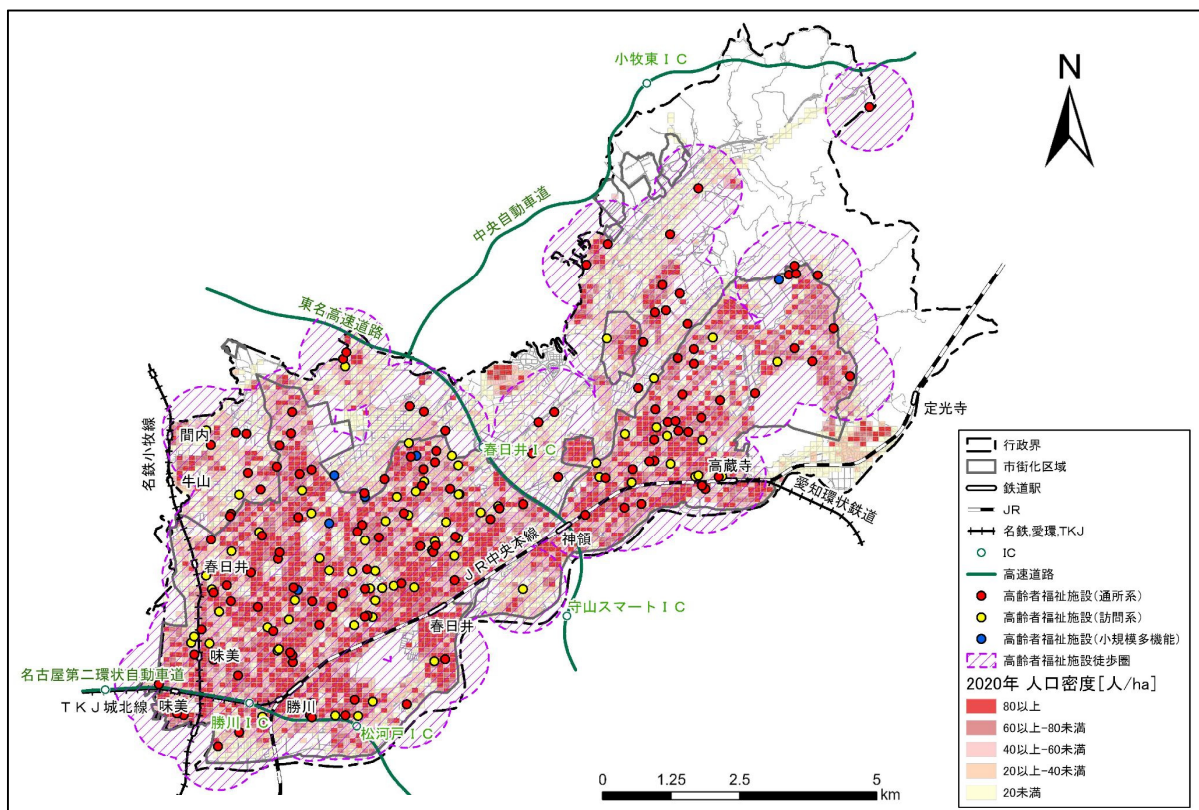
(1) 高齢者福祉施設

対象施設：高齢者福祉施設（通所系、訪問系、小規模多機能、入所系）

- ◆都市構造評価における高齢者福祉施設は、通所系施設、訪問系施設、小規模多機能施設を指しているため、それらの施設の徒歩圏のカバー率、平均人口密度を算出します。徒歩圏のカバー率は98.0%、平均人口密度は42.3人/haとなり、類似都市と比較して高い水準となっています。
- ◆高齢者福祉施設（通所系）の徒歩圏のカバー率は95.6%、平均人口密度は42.8人/haとなっており、当初計画よりも上昇しています。
- ◆高齢者福祉施設（入所系）の徒歩圏のカバー率は71.6%、平均人口密度は41.6人/haとなっており、徒歩圏のカバー率は当初計画よりも減少したものの、平均人口密度は上昇しています。

【図 高齢者福祉施設の徒歩利用圏－徒歩圏半径800m】

【備考】徒歩圏は半径800mとして設定。通所系施設、訪問系施設、小規模多機能施設を対象。



	現況
徒歩圏カバー率	98.0%
徒歩圏平均人口密度	42.3人/ha

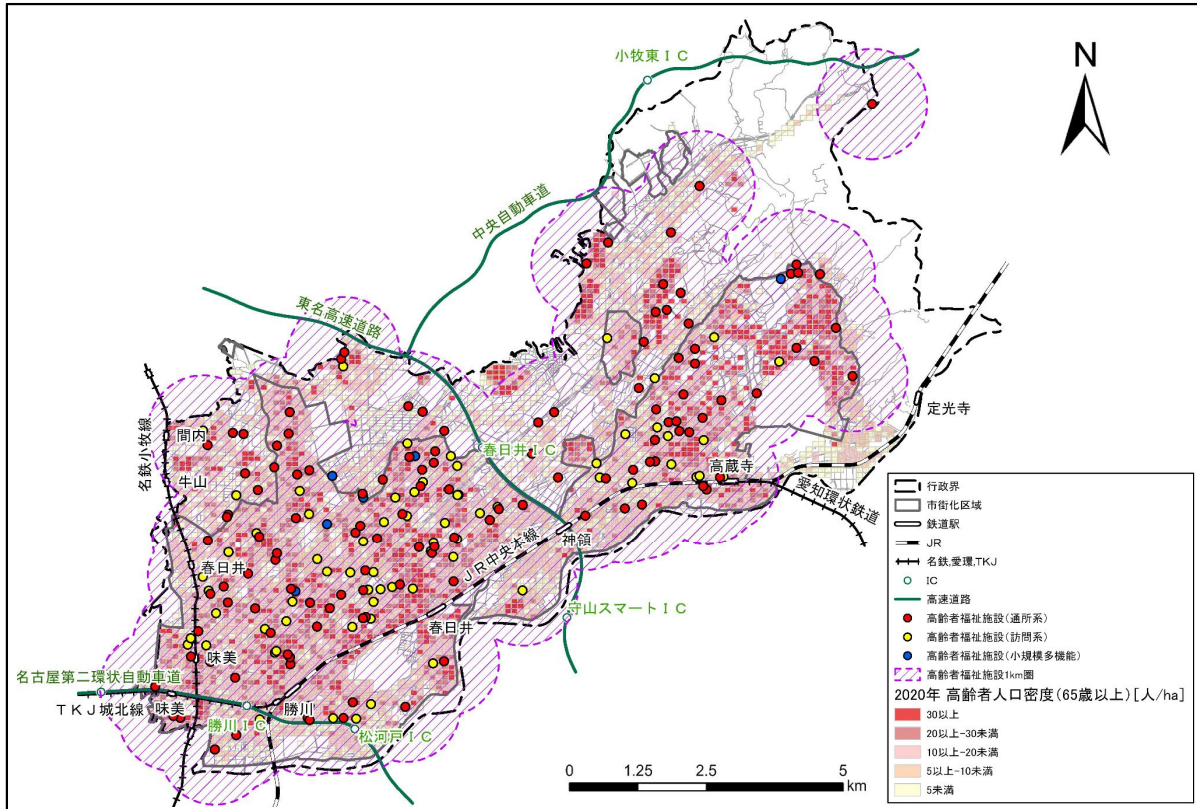
資料：春日井市資料、2020年（令和2年）国勢調査、2020年（令和2年）住民基本台帳

【表 類似都市等との比較（高齢者福祉施設）】

高齢者福祉施設 徒歩圏カバー率	春日井市	全国平均	政令市	40～70万人	10～40万人	10万人以下
	98.0%	41.0%	76.1%	72.4%	66.9%	34.8%
		豊橋市	岡崎市	一宮市	豊川市	豊田市
		68.7%	72.0%	86.0%	80.4%	60.6%
		安城市	小牧市			
76.2%	80.5%					
高齢者福祉施設 徒歩圏平均人口密度	春日井市	全国平均	政令市	40～70万人	10～40万人	10万人以下
	42.3人/ha	14.8人/ha	41.8人/ha	27.3人/ha	21.8人/ha	7.3人/ha
		豊橋市	岡崎市	一宮市	豊川市	豊田市
		32.3人/ha	32.3人/ha	35.9人/ha	22.5人/ha	25.3人/ha
		安城市	小牧市			
30.0人/ha	31.9人/ha					
【備考】 徒歩圏は半径800mとして設定。通所系施設、小規模多機能施設、訪問系施設を対象。						

【図 高齢者福祉施設の日常生活圏域－日常生活圏域半径1km】

【備考】『都市構造の評価に関するハンドブック/国土交通省都市局都市計画課』に従い、日常生活圏域は厚生労働省の「地域包括ケアシステム」の日常生活圏域半径1kmとして設定。通所系施設、訪問系施設、小規模多機能施設を対象。

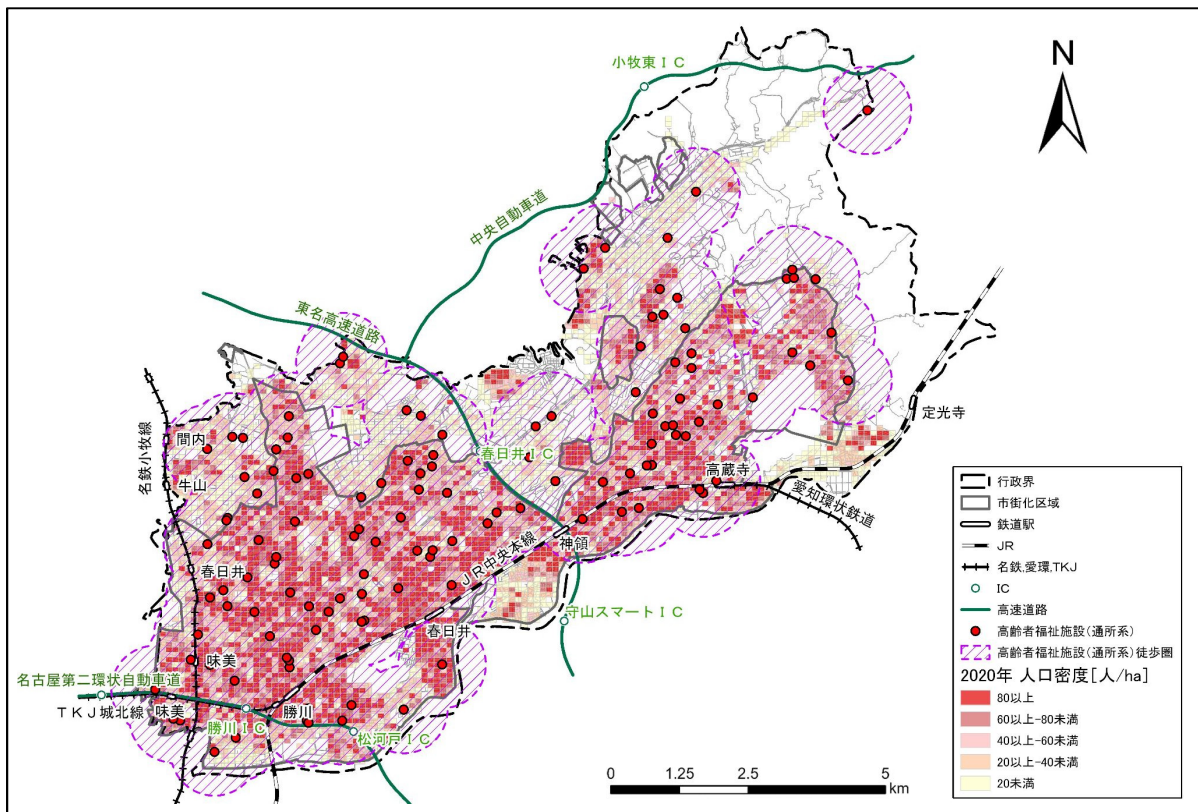


	現況
日常生活圏域カバー率	98.7%
日常生活圏域平均人口密度	10.3人/ha

資料：春日井市資料、2020年（令和2年）国勢調査、2020年（令和2年）住民基本台帳

【図 高齢者福祉施設（通所系）の徒歩利用圏－徒歩圏半径800m】

（備考）徒歩圏は半径800mとして設定。通所系施設を対象。

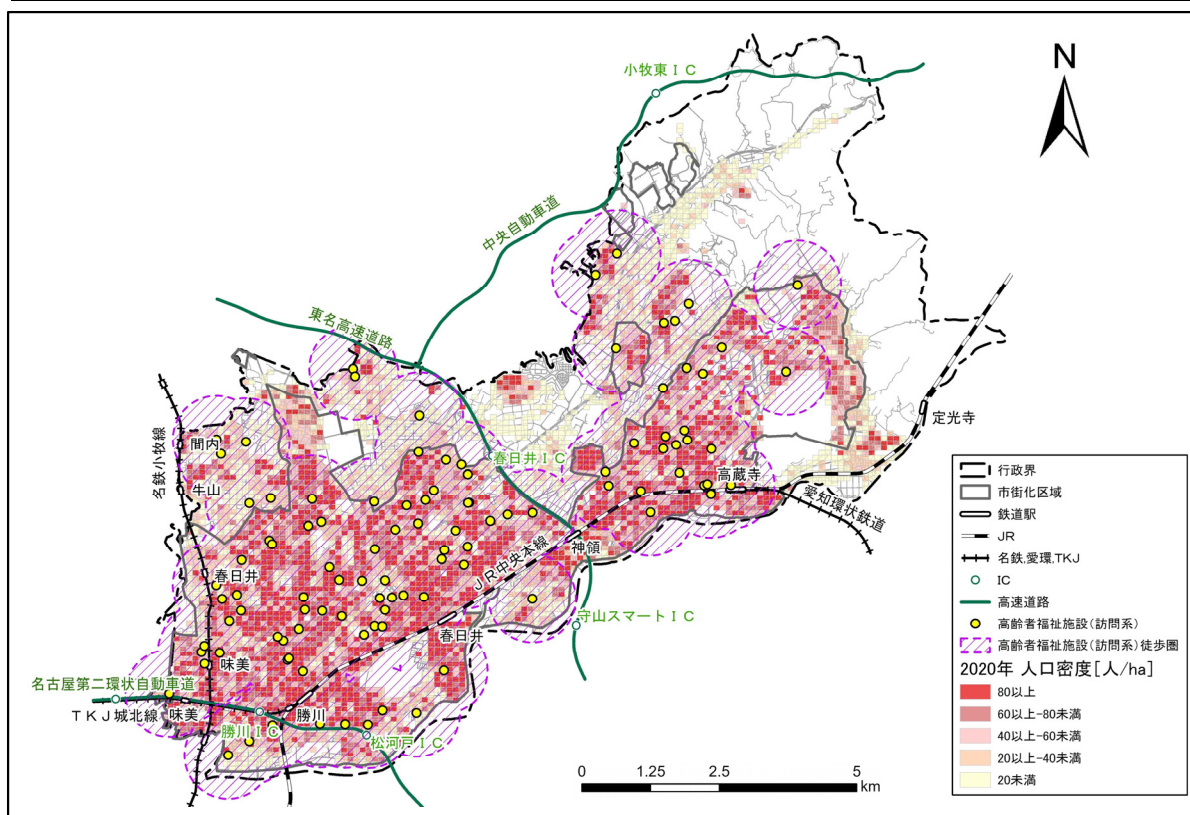


	当初計画	現況	増減
徒歩圏カバー率	95.5%	95.6%	+0.1%
徒歩圏平均人口密度	40.3人/ha	42.8人/ha	+2.5人/ha

資料：春日井市資料、2020年（令和2年）国勢調査、2020年（令和2年）住民基本台帳

【図 高齢者福祉施設（訪問系）の徒歩利用圏－徒歩圏半径800m】

（備考）徒歩圏は半径800mとして設定。訪問系施設を対象。

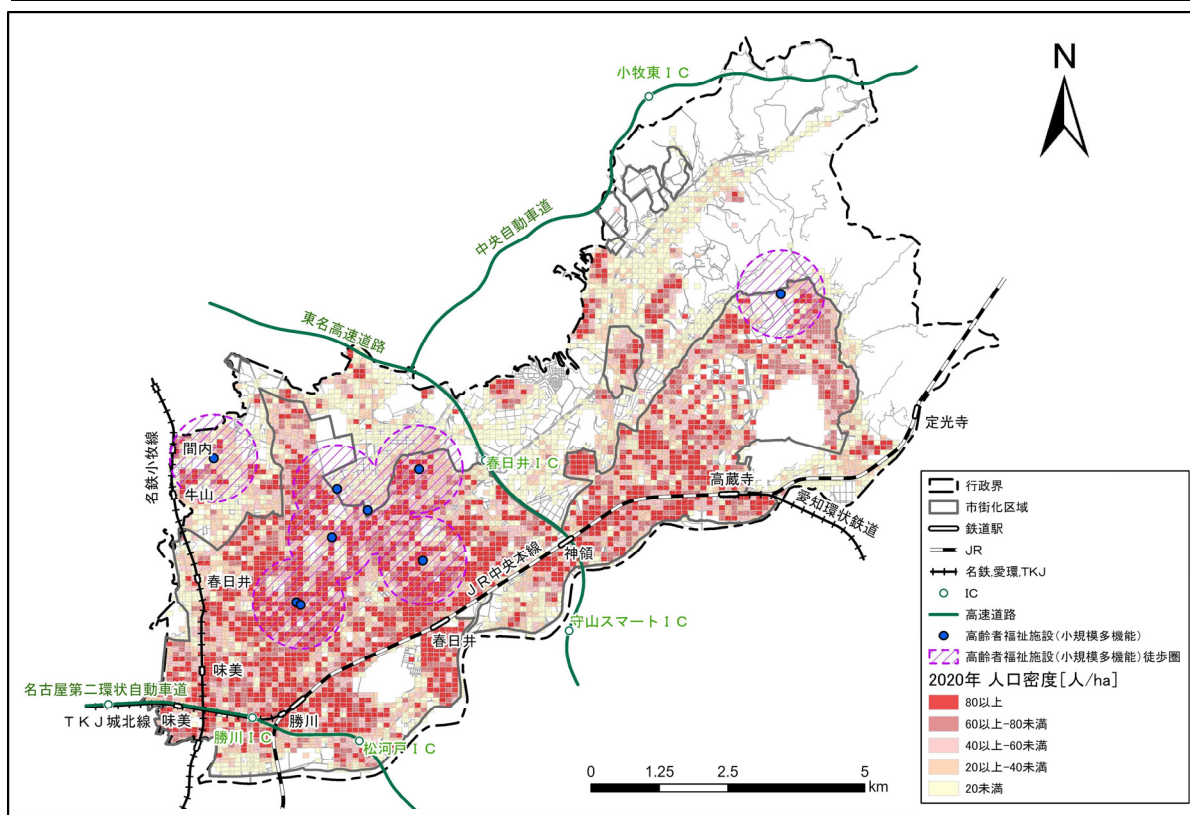


	現況
徒歩圏カバー率	91.7%
徒歩圏平均人口密度	47.9 人/ha

資料：春日井市資料、2020年（令和2年）国勢調査、2020年（令和2年）住民基本台帳

【図 高齢者福祉施設（小規模多機能）の徒歩利用圏－徒歩圏半径800m】

（備考）徒歩圏は半径800mとして設定。小規模多機能施設を対象。

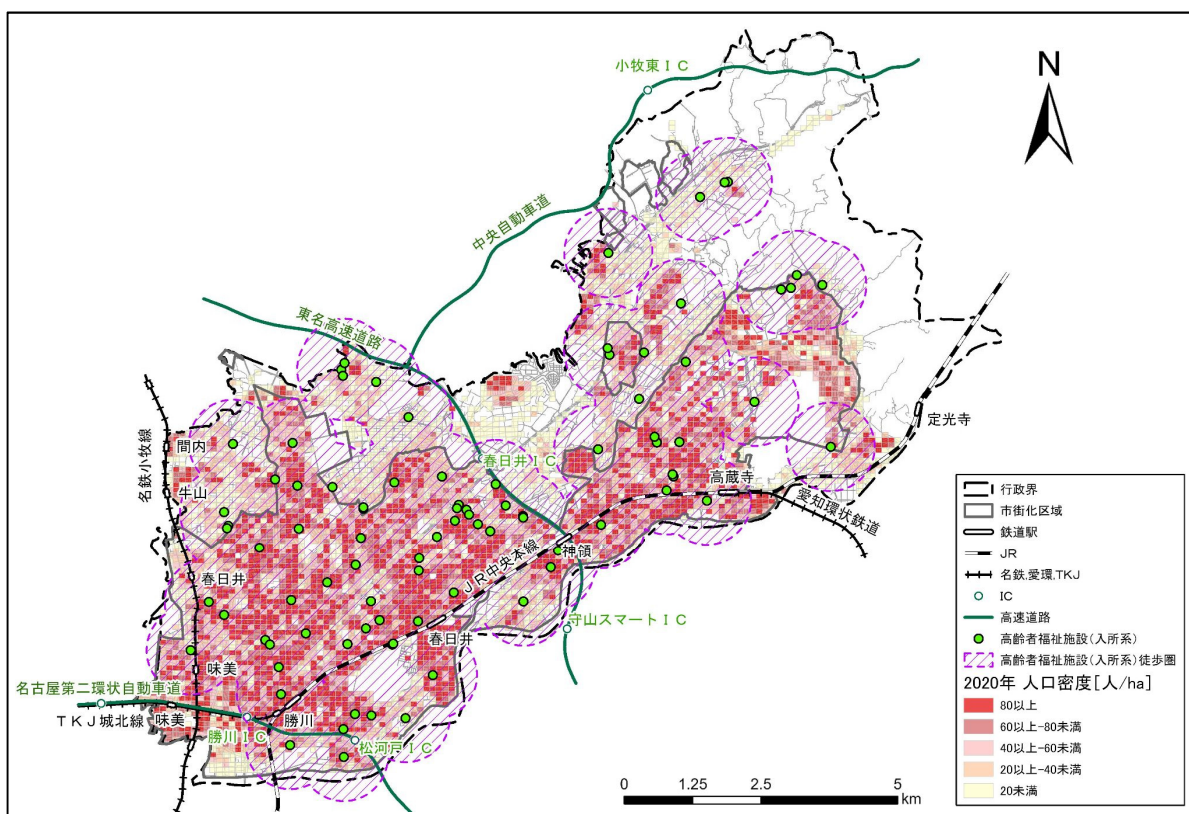


	現況
徒歩圏カバー率	23.5%
徒歩圏平均人口密度	50.0 人/ha

資料：春日井市資料、2020年（令和2年）国勢調査、2020年（令和2年）住民基本台帳

【図 高齢者福祉施設（入所系）の徒歩利用圏－徒歩圏半径800m】

【備考】 徒歩圏は半径800mとして設定。入所系施設を対象。



	当初計画	現況	増減
徒歩圏カバー率	84.4%	98.0%	+13.6%
徒歩圏平均人口密度	39.6 人/ha	42.1 人/ha	+2.5 人/ha

資料：春日井市資料、2020年（令和2年）国勢調査、2020年（令和2年）住民基本台帳

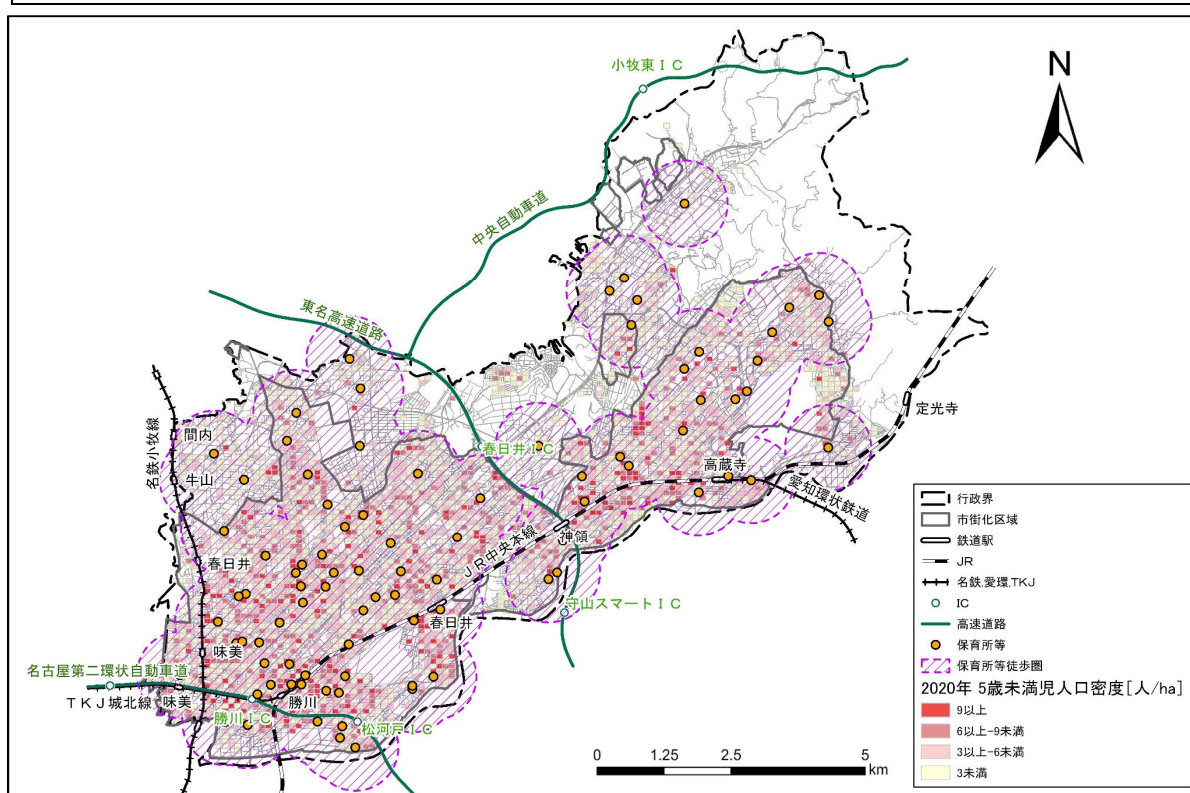
(2) 子育て施設

対象施設：保育所等、子育て支援施設

- ◆保育所等については、市街化区域のほぼ全域が徒歩圏に含まれ、5歳未満児人口（0～4歳）の徒歩圏のカバー率は97.2%、平均人口密度は1.9人/haとなっており、類似都市と比較して高い水準となっています。
- ◆子育て支援施設については、市街化区域のほぼ全域が徒歩圏に含まれ、5歳未満児人口（0～4歳）の徒歩圏のカバー率は32.7%、平均人口密度は2.4人/haとなっています。

【図 保育所等の徒歩利用圏—徒歩圏半径800m、5歳未満児人口（0～4歳）】

【備考】徒歩圏は半径800mとして設定。5歳未満児人口（0～4歳）を対象。
 なお、当初計画では幼児人口（0～5歳）を対象としている。



	当初計画	現況	増減
徒歩圏カバー率	0～5歳 90.6%	0～4歳 97.2%	—
徒歩圏平均人口密度	—	0～4歳 1.9人/ha	—

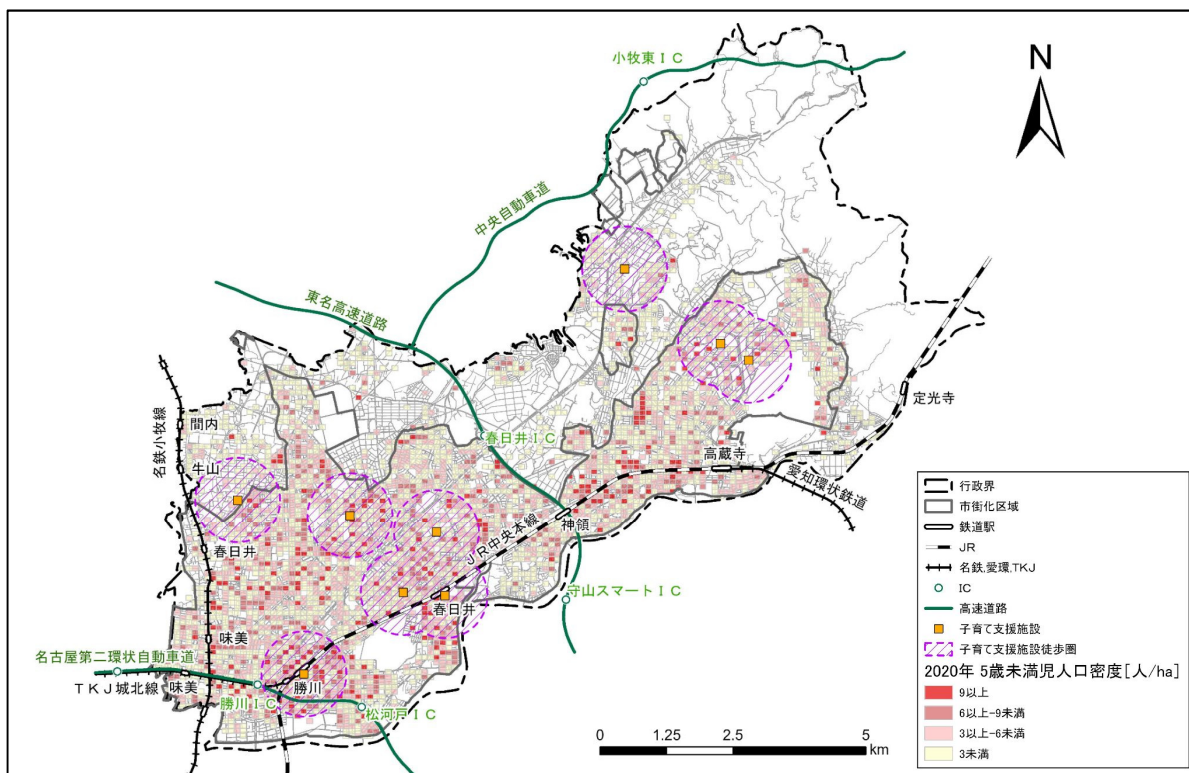
資料：春日井市資料、2020年（令和2年）国勢調査、2020年（令和2年）住民基本台帳

【表 類似都市等との比較（保育所等）】

保育所等 5歳未満児人口 徒歩圏カバー率	春日井市	全国平均	政令市	40～70万人	10～40万人	10万人以下
	97.2%	52.1%	77.1%	68.5%	68.2%	45.0%
		豊橋市	岡崎市	一宮市	豊川市	豊田市
		3.4%	20.8%	87.6%	74.6%	7.8%
		安城市	小牧市			
84.5%	91.8%					
<参考> 保育所等 5歳未満児人口 徒歩圏平均人口密度	春日井市					
	1.9人/ha					
【備考】 徒歩圏は半径800mとして設定。保育所等を対象。						

【図 子育て支援施設の徒歩利用圏－徒歩圏半径800m、5歳未満児人口（0～4歳）】

【備考】 徒歩圏は半径800mとして設定。5歳未満児人口（0～4歳）を対象。
 なお、当初計画では幼児人口（0～5歳）を対象としている。



	当初計画	現況	増減
徒歩圏カバー率	0～5歳 26.9%	0～4歳 32.7%	—
徒歩圏平均人口密度	—	0～4歳 2.4人/ha	—

資料：春日井市資料、2020年（令和2年）国勢調査、2020年（令和2年）住民基本台帳